

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		サボ・ゼミ		回答7名		公表日		2025年 3月 21日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7		個別支援の為、無理のない利用数で支援しています。	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		4	3	勉強スペース、遊びスペース両方に常に職員が配置されていることを心掛けています		・職員の突発休などが1人の職員への負担が大きいため職員の増員を予定(2025年4月より) ・職員の離職次期が重なり保護者様、利用児童を不安感を与えてしまった		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		勉強スペース、遊びスペースを完全に分けており、段差がない充分な歩行スペースを設けています		個別スペースには、荷物入れ・机・椅子を配置し、個別活動がしやすいように整えている。また、遊びスペースは、おもちゃを配置。個別スペースと遊びスペースを完全に分けて、児童が迷わないようにしています		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		安全で清潔な環境を保てるよう毎日清掃しています。児童が使用するツール等はこまめに消毒しています		毎日清掃し、アルコール消毒を行い、清潔な空間を維持しています		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		個別支援をしておりますので、すべての利用者様に個別スペースをお使いいただいております		個別スペースに圧迫感を感じないか、遊びスペースは怪我等の要因になるものはないか今後も常に点検します		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		7		朝のMTG・振り返り・共有ノートにて、児童の情報共有し、随時支援を見直しています。		朝のMTG振り返り、共有ノートでは、本人の状態を全員で確認しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		保護者様とは機会に応じて、意向を把握して本人の状態・意向を支援に反映しています。		保護者様と本人同席のもと、本人の意向を大切に支援していける環境作りが課題です。日程の調整(保護者様・児童・事業所)に計画的に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		7		朝のMTG・振り返り・共有ノート、職員会議にて、職員の意見の把握を心掛けています。		多職種が集まりではあるので、各職種の専門性を活かした気づきを大切に業務改善に務めます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今年度は、年度初めに事業内容の説明と年度末に報告のみにとどまり、改善につなげることが出来ませんでした		次年度は、第三者より、フィードバックをもらいつつ業務改善につなげていきます	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		7		札幌市よりの研修の案内は職員に回覧・周知しております		市より研修会参加、西区の研修・ちえりあの研修に参加する予定です	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		7		今年度分の公表は完了しております		次年度も支援プログラムを念頭に置きながら、個別の支援に励み見直しを図って公表予定です	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		7		モニタリングを経て・個別支援計画の作成・見直しを図り、原案をもとに、保護者様のニーズや課題を把握に努めています。		引き続き、児童の理解に多角的に取り組んでいく。チームワークで研鑽していきます	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7		多職種で、それぞれ多角的に児童理解に努め共有、子どもの最善の利益を追求していきます		引き続き、児童の理解に多角的に取り組んでいく。チームワークで研鑽していきます	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		7		職員一人ひとりが支援前に個別支援計画を通読・確認している。また、朝のMTGで、児童の状態を共通理解に取り組んでいます		日々の児童の様子を加味し、個別支援計画と合わせて支援を行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7		保護者から頂いたアセスメント(フォーマル)と日々の記録を合わせた(インフォーマル)情報も大切に共有し支援しています		インフォーマルなアセスメント(日々の記録・様子)が主の児童理解になってしまいがちのため、今後はフォーマルなアセスメントを活用できるよう改善していきます	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7		個別支援計画には、ガイドラインに則りすべての項目と具体的な支援方法を設定、そのうえで支援を行っています		児童の成長に合わせて、適時個別支援計画を見直し更新していきます	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		7		児発管、児童指導員・保育士・心理士と多職種で議論。多角的に児童を理解し、最適な活動プログラムの立案をしています		児童の活動に向かう姿を評価・共有し活動プログラムを見直し、今後もより良いプログラムを目指します	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	個別支援計画に沿って、支援し児童の行動観察を評価。余暇の遊びの部分で、児童のその日の意向に沿った活動を行っています	日々の児童の行動を観察し、記録し評価を随時行う。記録とフォーマルなアセスメントし、個別支援・遊びに、工夫し児童が取り組みやすくしていきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	一人ひとりに合わせた個別支援と遊びの部分の集団支援を組み合わせる支援を行っています	今後も引き続き個別支援と集団支援を組み合わせる支援を提供します
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	朝のMTGや振り返りを行っている。チームで支援の役割を変えて取り組んでいます	朝のMTGや振り返りを行い、チームで支援の役割を変えて取り組んでいます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	朝のMTGや振り返りを行っている。チームで支援の役割を変えて取り組んでいます	今後も朝のMTGや振り返りを行ないチームで支援の役割を変えて取り組んでいる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	日々の支援記録は、職員で声を掛け合い、抜けなく記録している。また、職員間で共有いつでも見えてわかる状態を継続、記録を小まめに閲覧し、お互いに情報を共有しています	引き続き、抜けなく記録をとり、お互いの注意していく。また、支援の検証・改善につなげていきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	月1～2回のモニタリングを行っている。職員全員が参加し、チームで児童の情報共有、支援の見直しにチームで取り組んでいます	引き続き月1～2回のモニタリングを行い、職員全員が参加し、チーム全体で児童の情報共有、支援の見直しにチームで取り組んでいます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	児発管・管理者（児童の総合的な情報を知っている）が、児童相談所主催のケース会議に参加。また、相談支援事業所とは、適宜電話・訪問による情報共有をしています	今後も引き続き、積極的に参加していきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	児童が利用している西区保健所や子ども園・小学校の教諭と電話による情報共有を行っています	引き続き児童が利用している西区保健所や子ども園・小学校の教諭と電話による情報共有を行っています
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	子ども園の教諭と電話での児童の情報共有や送迎時の日々の児童の様子を相互理解しています	引き続き子ども園の教諭と電話での児童の情報共有や送迎時の日々の児童の様子を相互理解していきます
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	小学校担任教諭と電話での児童の情報共有や送迎時の日々の児童の様子を相互理解しています	引き続き小学校担任教諭と電話での児童の情報共有や送迎時の日々の児童の様子を相互理解を深めていきます
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	地域の児童発達支援センターのコーディネーターのスーパーバイズを受けて支援に生かしています	今後も引き続き地域の児童発達支援センターのコーディネーターのスーパーバイズを受けて支援に生かしていきます
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	今年度は、交流する機会を設けることができなかった。交流する機会を計画していきます	次年度は、交流する機会を計画していきます
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	日々保護者様に、フィードバックの時間を設けています	今後も日々保護者様に、フィードバックの時間を設けます
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	今年度は、家族に対してのプログラムや研修を設けることができませんでした	次年度は、家族に対してのプログラムや研修を計画いたします	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	契約時・個別支援計画説明時・フィードバックの際に、丁寧に説明しております	引き続き、契約時・個別支援計画説明時・フィードバックの際に、丁寧に説明いたします	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	原案を作成し、説明。再度保護者様・児童の意向を聞き取り見直し、児童の最善の利益を考慮し、作成しています	引き続き、原案を作成し、説明。再度保護者様・児童の意向を聞き取り見直し、児童の最善の利益を考慮し、作成していく。また、適宜、職員と情報を共有し見直しを図ります	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		原案を示し、説明を行っている。見直し後、再度説明し保護者様の同意を得ています	引き続き原案を示し、説明を行っている。見直し後、再度説明し保護者様の同意いただきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		適宜、面談で対応している。特に児童の様子で気になることがあった場合は、こちらから面談のアポイントをとって、相談に応じています	引き続き適宜、面談で対応していきます。特に児童の様子で気になることがあった場合は、こちらから面談のアポイントをとって、相談に応じます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	イベントでは、兄弟同士の交友する機会を提供できた。一方、保護者会は、望まない保護者様が多い為、未実施です	イベントでは、兄弟同士の交友する機会を提供できました。一方、保護者会は、望まない保護者様が多い為、未実施ではあるが、保護者様に保護者会の参加意向があるか、ニーズを確認いたします
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談・面談は、迅速に対応している。また、相談の手続きを周知できました	相談・面談は、迅速に対応している。また、相談の手続きを更に整理し周知していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		通信は、月一度発行している。また、SNSにて、子どもの活動を紹介しています	引き続き、通信は、月一度発行します。また、SNSにて、子どもの活動を紹介いたします
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取扱いは、社内ルールにのっとり徹底しています	引き続き、個人情報は細心の注意払い取扱います
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		LINEを使った連絡手段を年度途中に追加している。言葉だけでは忘れてしまうことも考えられるため、保護者は使いやすい手段（電話・メール・LINE）等から選択し、連絡できるよう配慮しています	引き続きLINEを使った連絡手段を活用し、保護者様の使いやすい手段（電話・メール・LINE）等から選択し、連絡できるよう配慮していきます
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	近隣高齢者施設に利用者を招待しています	引き続き近隣高齢者施設に利用者を招待していきます	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各マニュアルを作成し、職員・家族に周知しています。地震・火災・不審者対応の避難訓練を実施しています	引き続き各マニュアルを熟読し、職員・家族に周知します。また地震・火災・不審者対応の避難訓練を実施いたします
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを策定し、地震・火災・不審者への避難訓練を実施できた。	引き続きBCPを策定し、地震・火災・不審者への避難訓練を実施できた。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様からアセスメントをとり、一覧票にし職員一同で周知しています	再度、保護者様からアセスメントをとり情報を更新・一覧票にし職員一同で周知致します
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		食物アレルギーについては、職員で周知しています。また、管轄の小児科医にアドバイスをいただいています	引き続き、児童の食物アレルギーについては、職員で周知していきます。また、管轄の小児科医にアドバイスをいただきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画は、避難場所の周知をしている。非常時の手順・安全に児童の引き渡しを行うため、児童の家族の写真をファイリングしている。また、児童の情報を一覧にまとめてファイリングしています	安全計画は、避難場所の周知をしています。非常時の手順・安全に児童の引き渡しを行えるよう工夫していきます
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画は、避難場所の周知をしている。非常時の手順・安全に児童の引き渡しを行うため、児童の家族の写真をファイリングしている。また、児童の情報を一覧にまとめてファイリングしています	安全計画は、避難場所の周知をしています。非常時の手順・安全に児童の引き渡しを行うための工夫をしています
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット・インシデントの情報を日々共有しています	ヒヤリハット・インシデントの情報を日々共有し、記録をファイリングいたします
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会による職員研修を行う。また、外部の虐待防止研修に参加しています	次年度も虐待防止委員会による職員研修を継続。また、外部の虐待防止研修に参加予定です
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		該当児童（身体拘束を必要とする）がないため、個別支援計画には、記載しておりません	該当児童が利用になった際は、児童・保護者様に丁寧な説明を行うとともに、個別支援計画に記載致します